

# CUCM 9.x+ と ELM - ライセンスのアップグレードおよびインストール

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[アップグレードとインストール](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[同期ステータスのセキュリティ エラー](#)

[ライセンス要求のステータス](#)

[Unified CM 製品インスタンスがない](#)

[製品インスタンスの登録に失敗する](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Enterprise License Manager ( ELM ) で Cisco Unified Communications Manager ( CallManager ) ( CUCM ) のライセンスをアップグレードまたはインストールする方法について説明します。このドキュメントは、特にバージョン 9.x 以降の CUCM ライセンスに焦点を合わせて説明しています。Cisco Unity Connectionライセンスが異なる

## 前提条件

### 要件

シスコでは次を推奨しています。

- Cisco Unified CallManager ( CUCM ) バージョン 9.x 以降をインストールします。  
注：既知のさまざまなライセンスの不具合のため、CUCM 9.1.1.20000-5 を強く推奨します。
- Cisco Enterprise License Manager ( ELM ) サーバと CUCM サーバに 4 ストラタム以下のネットワーク タイム プロトコル ( NTP ) があることを確認します。確認するには、コマンドライン インターフェイス ( CLI ) で **utils NTP status command** を使用します。
- Cisco Connection Online ( CCO ) アカウントの完全かつ正確なライセンス アカウント情報を用意します。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified CallManager ( CUCM ) バージョン 9.x 以降
- CUCM バージョン 9.x 以降の Cisco Enterprise License Manager

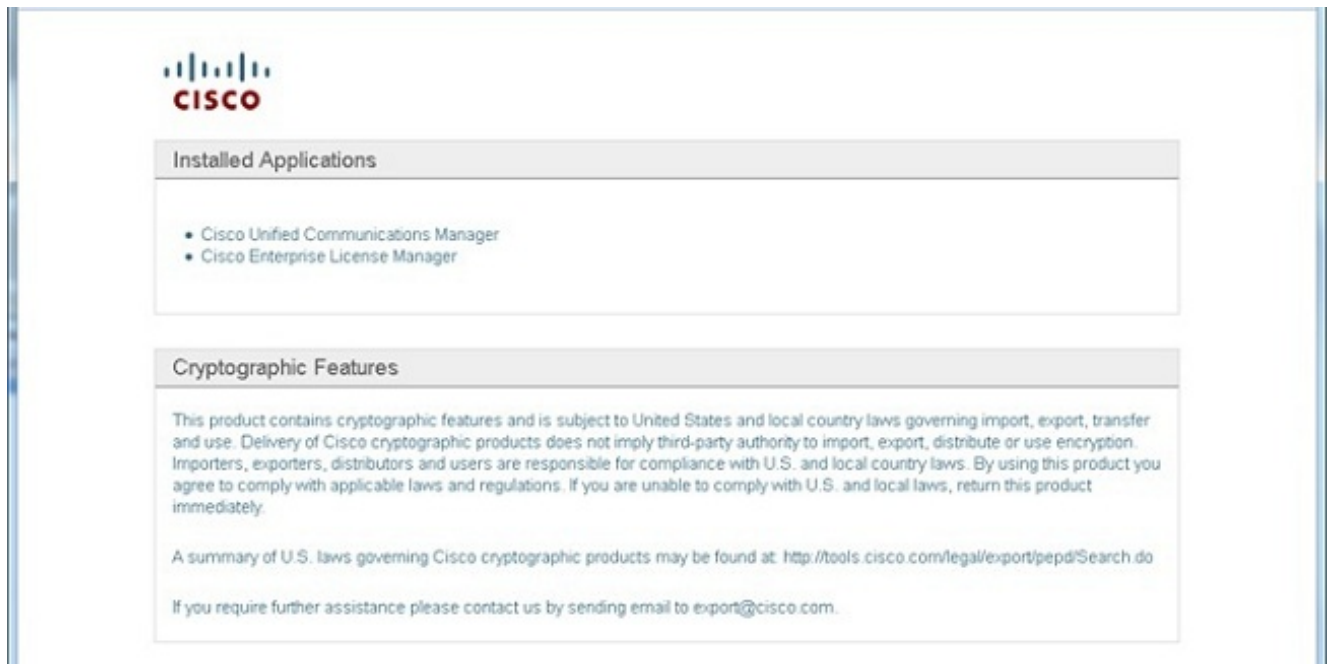
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 表記法

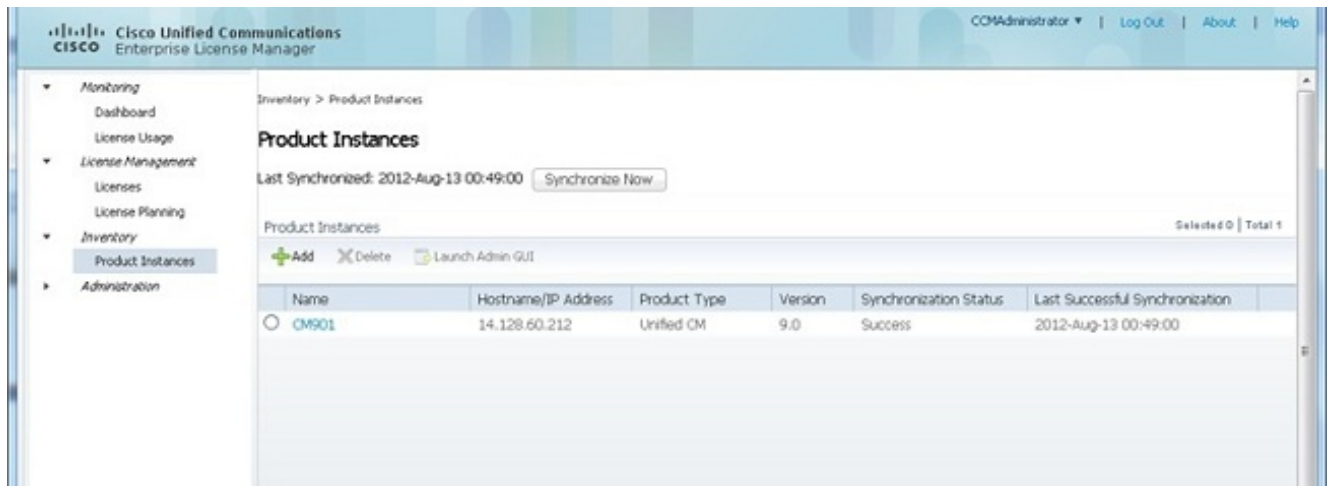
ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

## アップグレードとインストール

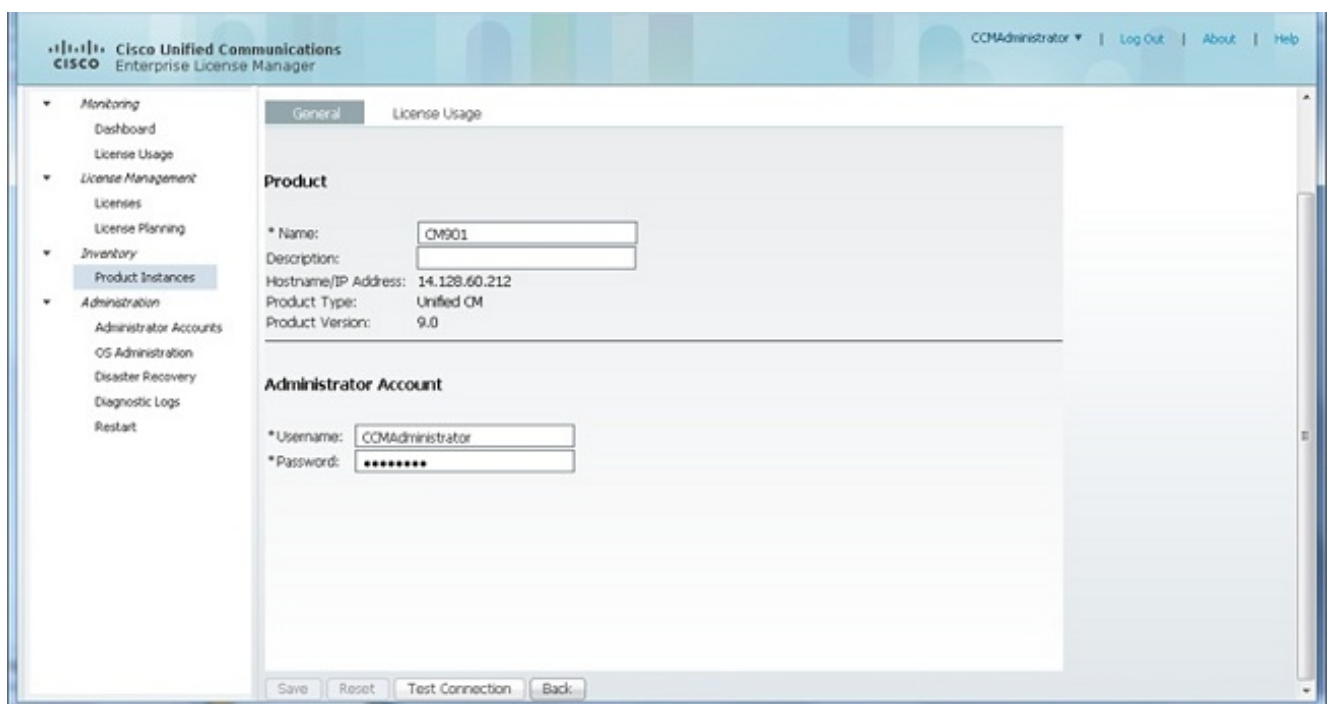
1. Cisco Unified Communications Enterprise License Manager にログインします。
2. スプラッシュ画面で [License Manager] リンクをクリックします。



3. [Inventory] を展開して、[Product Instances] をクリックします。
4. ライセンスを使用する CUCM サーバまたはクラスターで License Manager を指定します。CUCM Publisher のみの [Hostname/IP Address] セクションの IP アドレスを使用することを推奨します。加入者に対しては何も指定する必要はありません。



5. ライセンスを使用する CUCM サーバで License Manager を指定します。CUCM Publisher のみの [Hostname/IP Address] セクションの IP アドレスを使用することを推奨します。

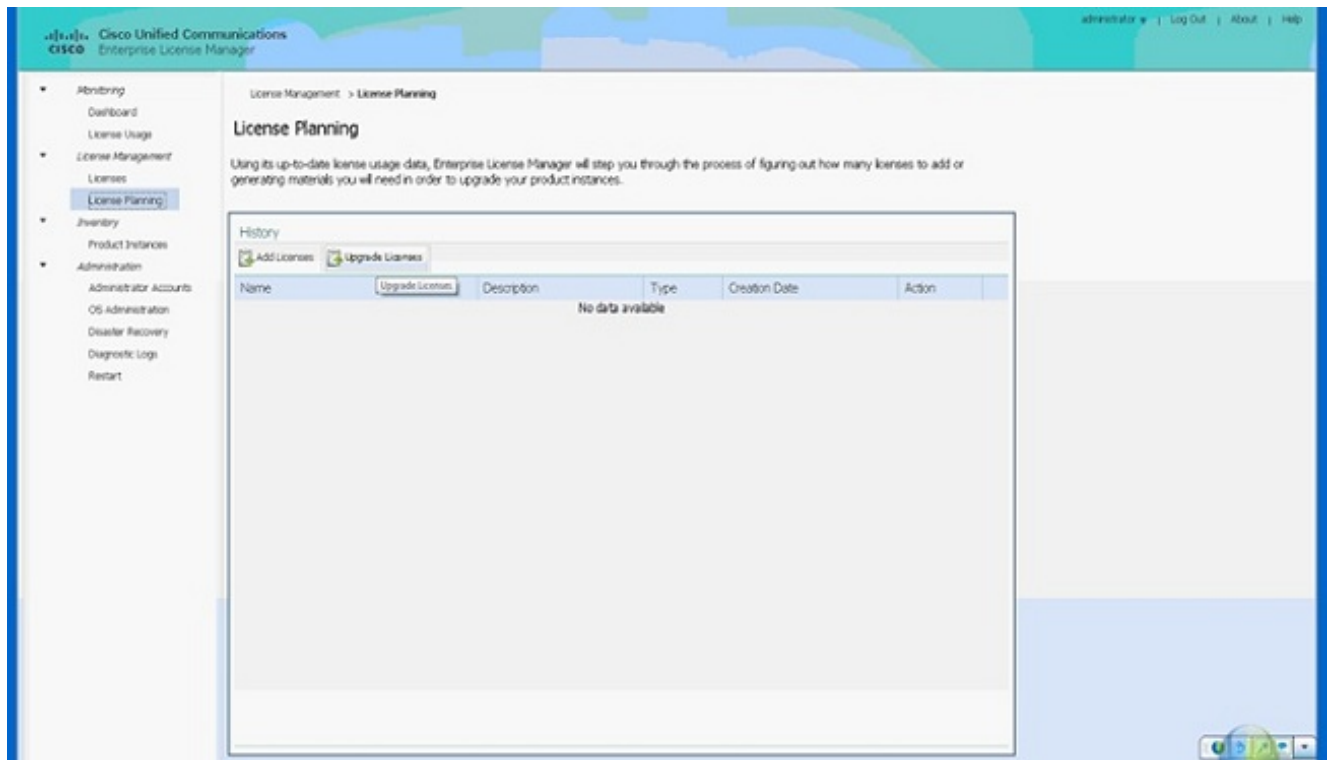


6. [Test Connection] をクリックし、正常に動作することを確認します。

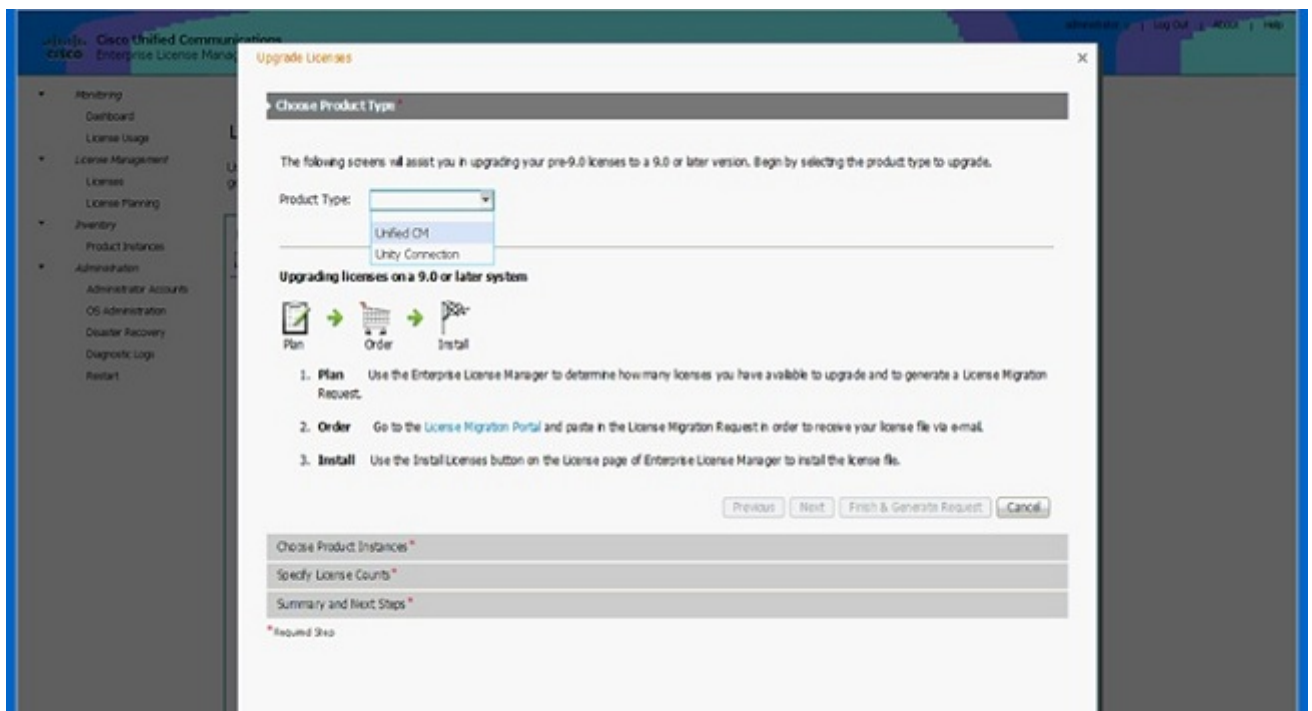
7. **Synchronize Now** をクリックします。

8. クラスタが CUCM の以前のバージョンからアップグレードされ、すべてのデータが CUCM に移行されている場合、次の手順を実行します。[License Management] を展開し、[License Planning] をクリックします。

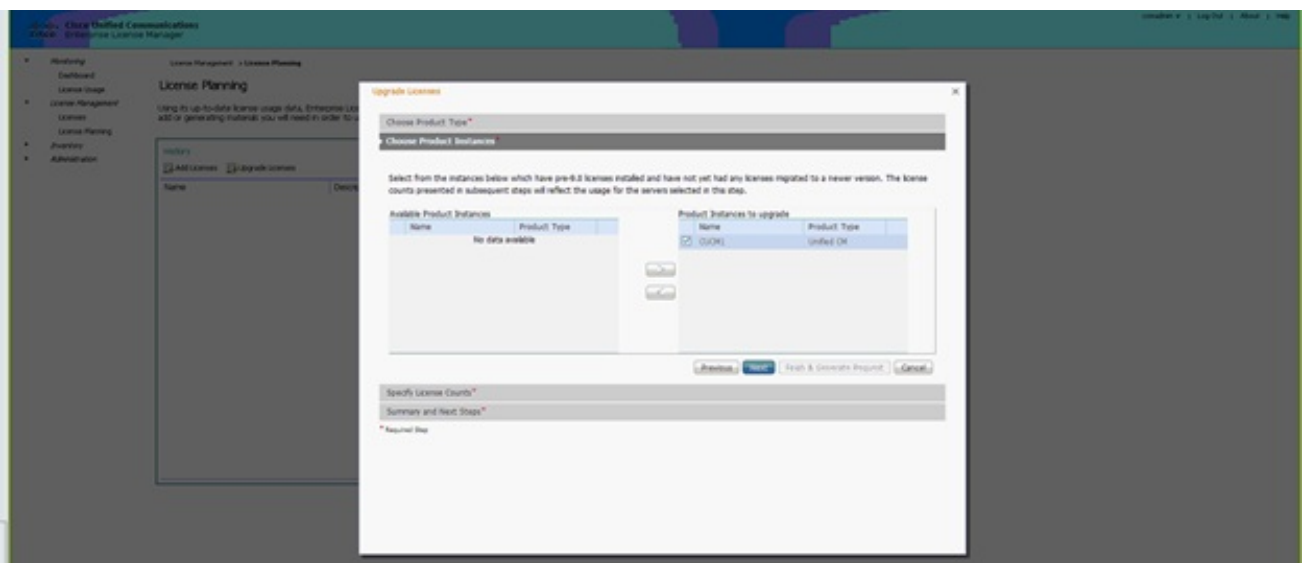
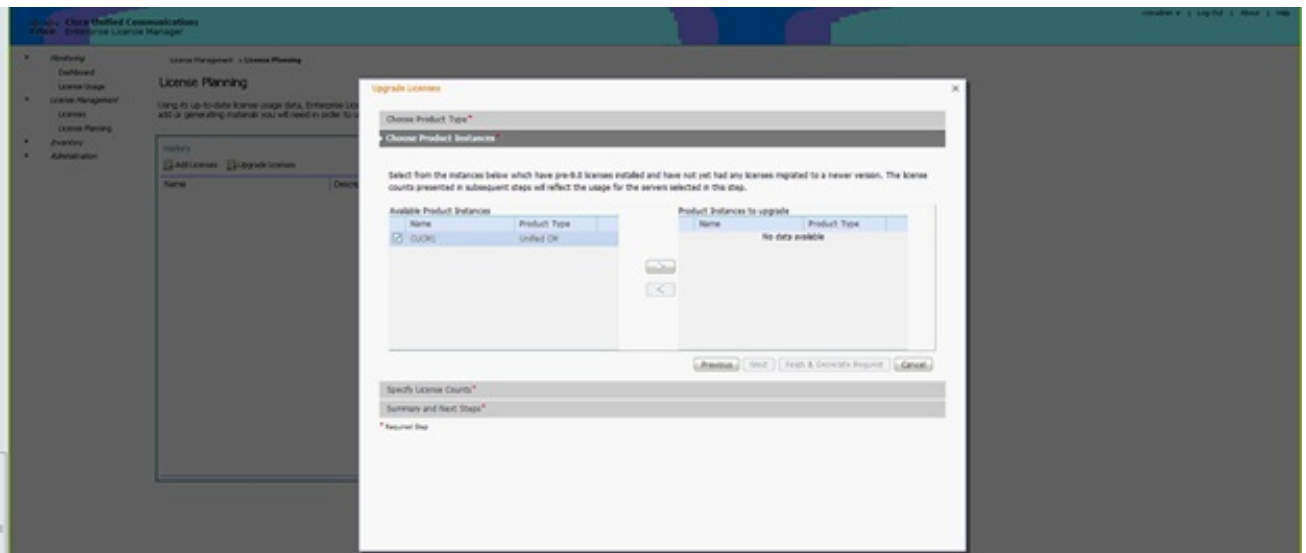
9. [Upgrade Licenses] をクリックします。



10. [Product Type]ドロップダウン リストから[Unified CM] を選択し、[Next] をクリックします。

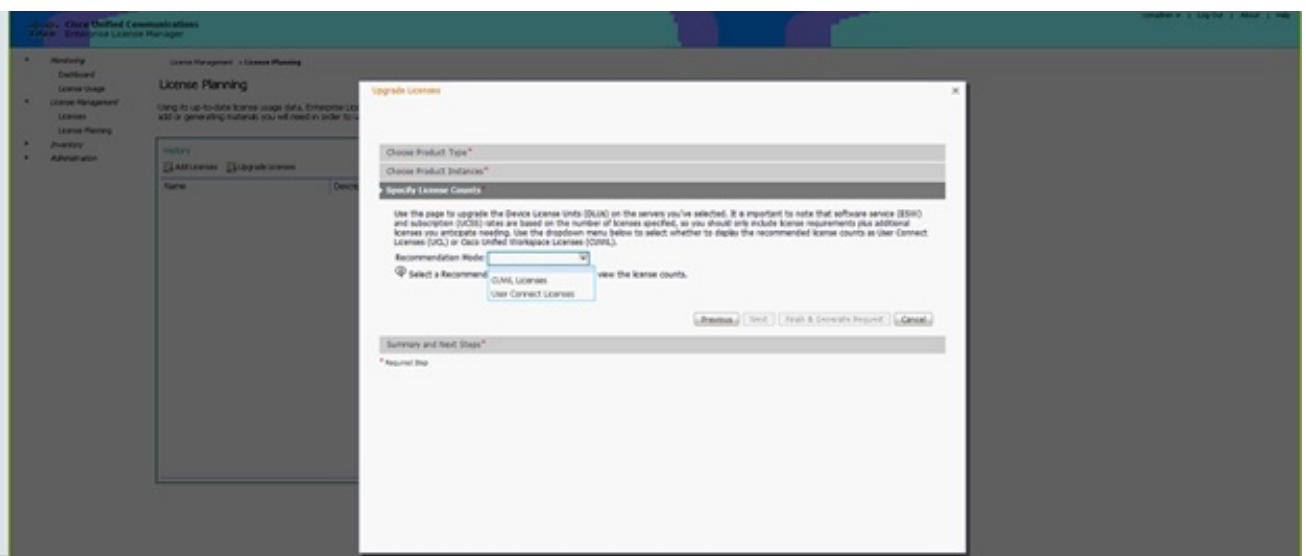


11. [Unified CM] 製品タイプがリストされます。左側のリストから右側のリストにサーバを移動します。



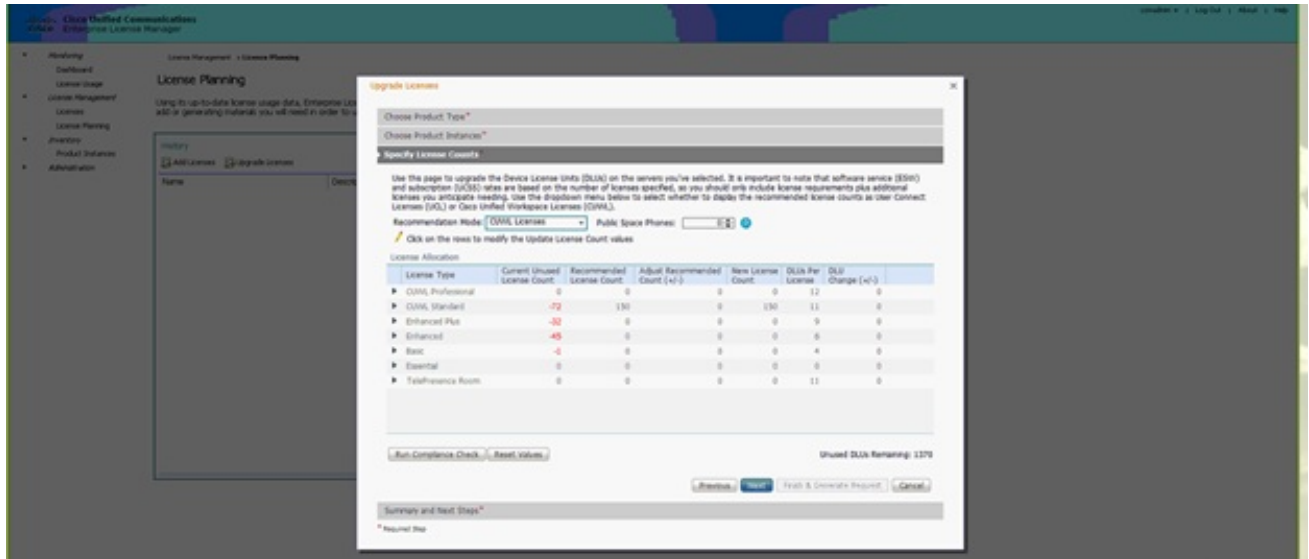
12. [Next] をクリックし、ライセンス タイプの選択枝を表示します。

13. ライセンス タイプを選択します。シスコは、将来購入を計画しているタイプを選択することを推奨します。たとえば、現在 Cisco Unified Workspace License ( CUWL ) を購入している場合、[CUWL] を選択します。

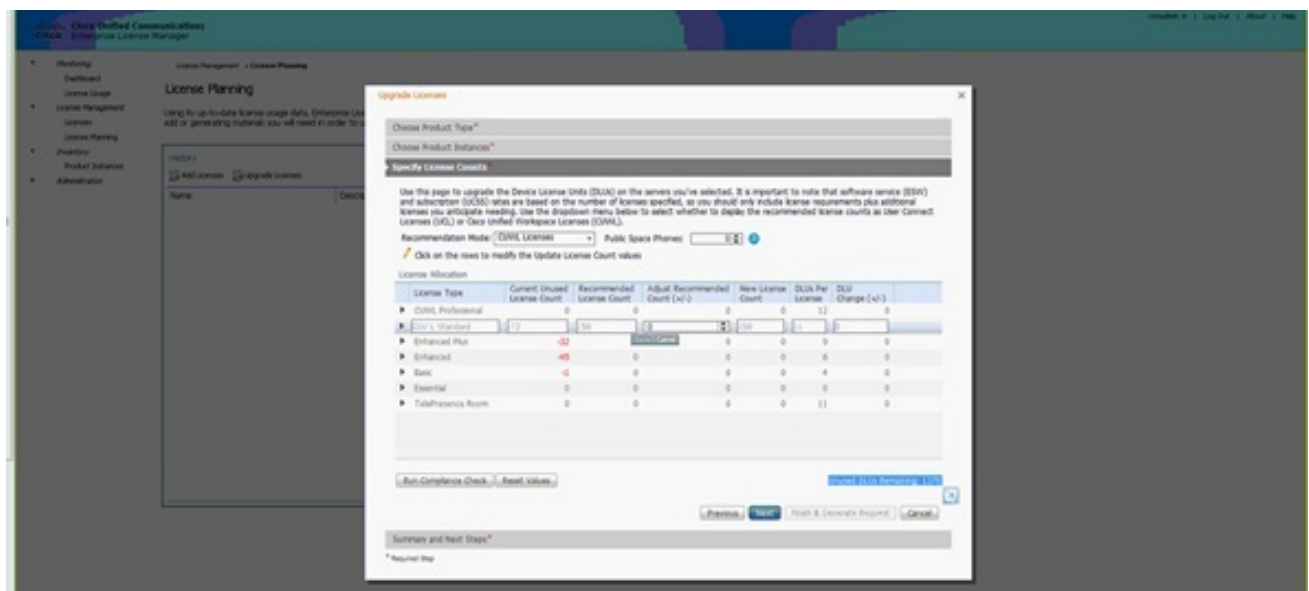


14. 画面の右下隅の、[Unused DLUs Remaining] のカウントは 0 である必要があります ( DLU

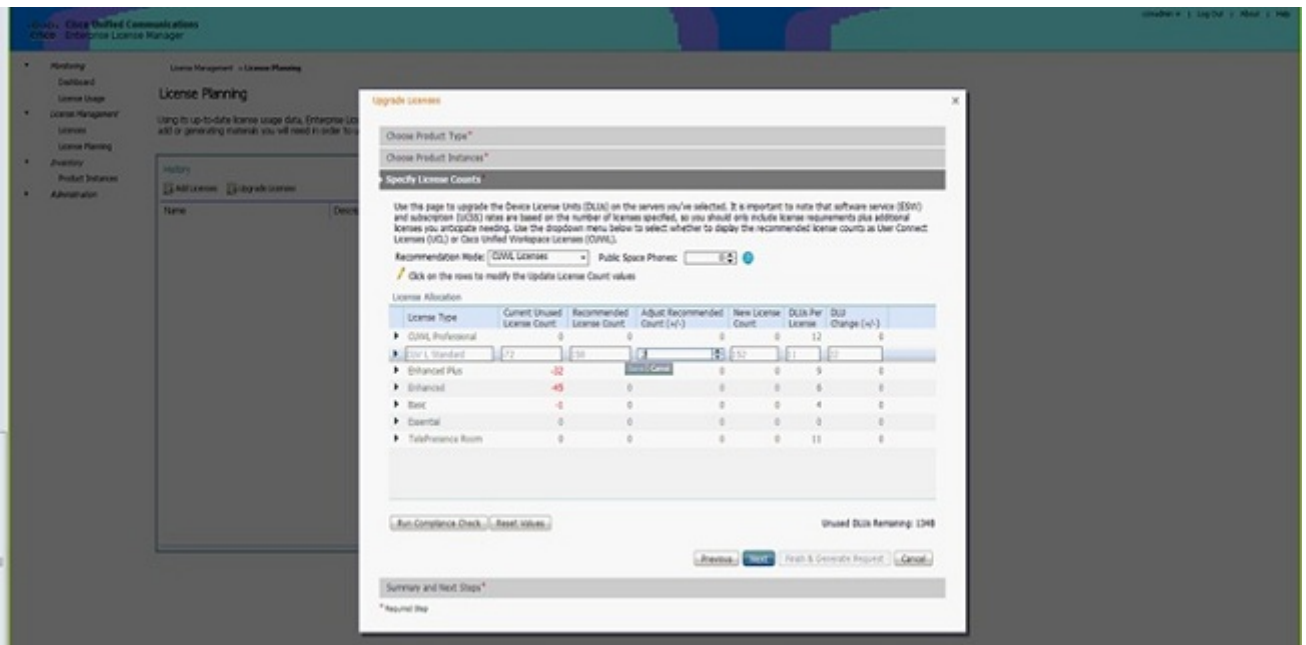
は、Device License Unit の略語です )。 [Adjust Recommended Count] 列のパラメータを変更し、[Unused DLUs Remaining] が 0 になるようにします。シスコは、クラスターで最も使用されているライセンス タイプの最大値を選択し、可能であればいくつかのより多くのライセンス タイプを検討されることを推奨します。CUCM のライセンスのツールでは、ライセンスを自動的に借用することができます。この例では、いくつかの CUWL Standard および CUWL Professional ライセンスを選択し、いくつかの基本または拡張ライセンスを含めます。



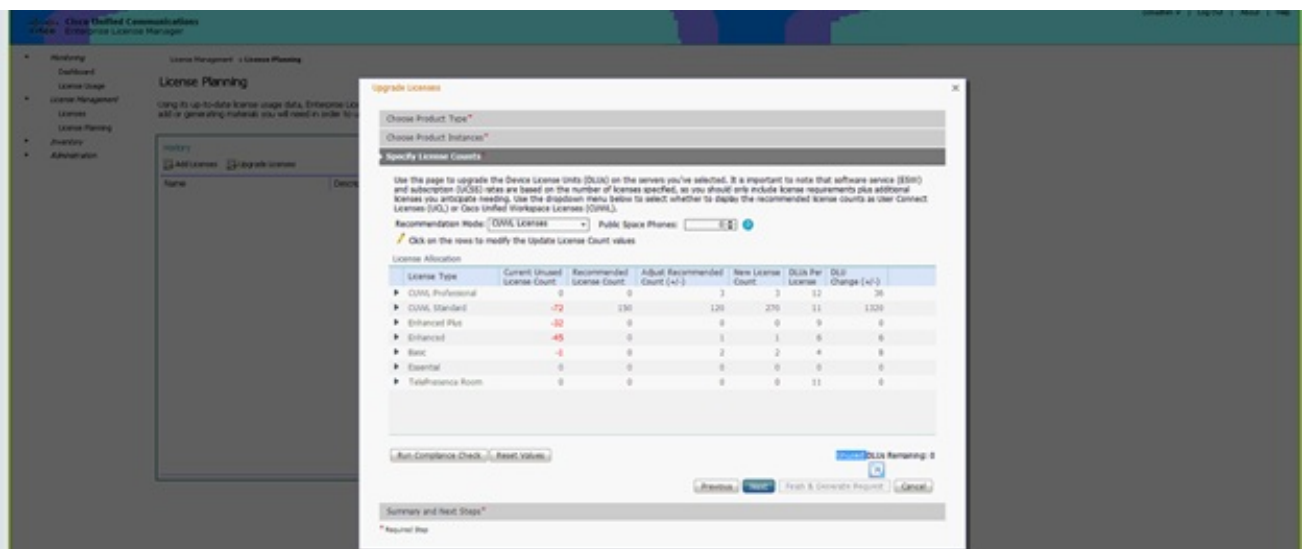
[Unused DLUs Remaining] を確認し、入力値に基づいてカウントがどのように変化するかを確認めます。



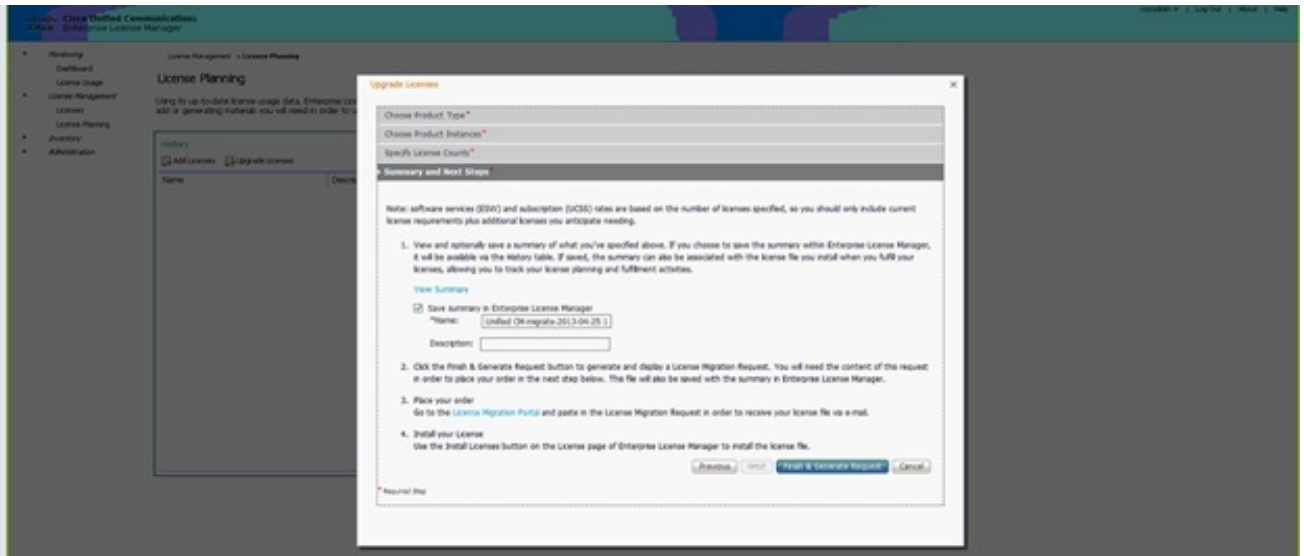
[DLUs Per License] 列で乗算した [Adjust Recommended Count] 列の数が [Unused DLUs Remaining] から差し引かれることがわかります。



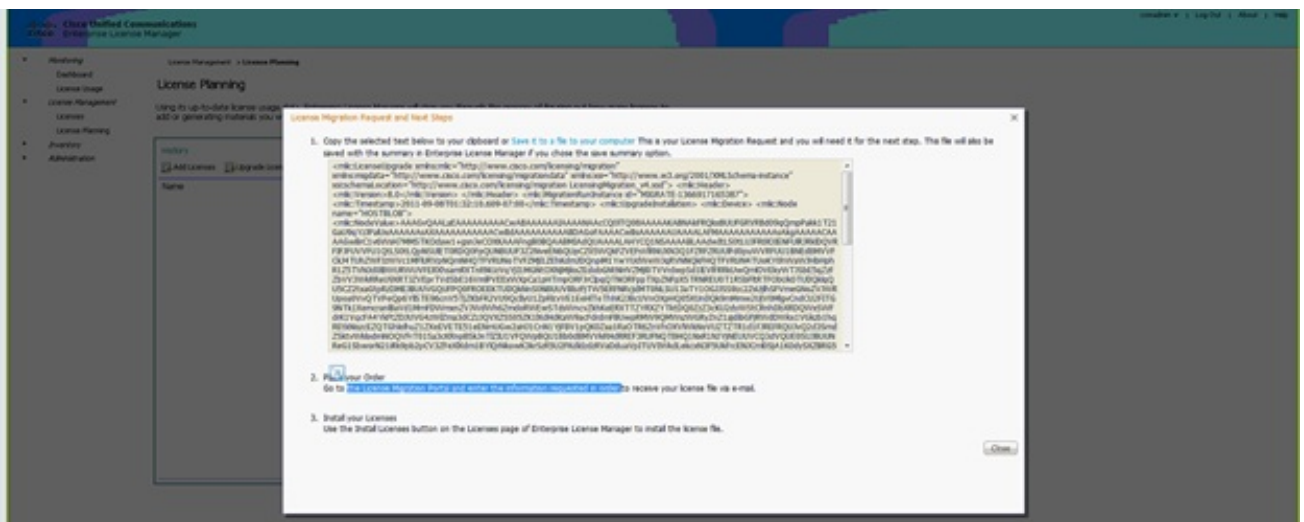
[Unused DLUs Remaining] のカウントが 0 になったことを確かめます。[next] をクリックします。



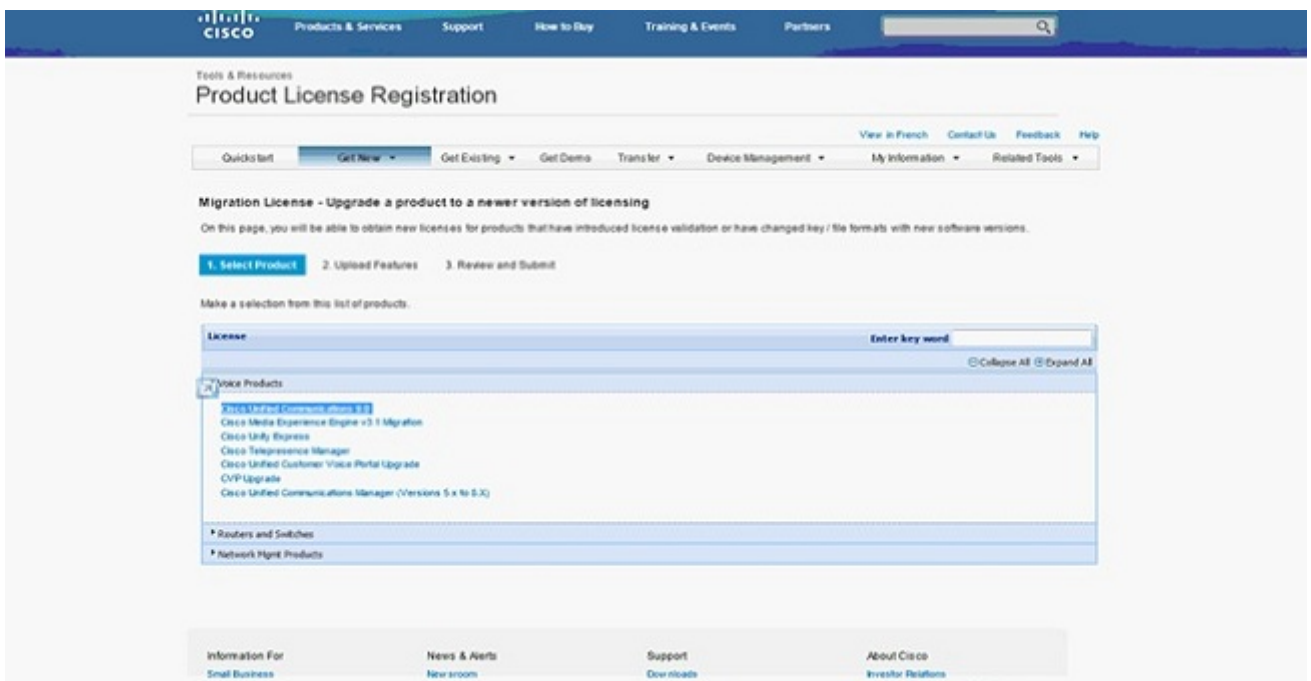
15. [Finish] および [Generate Request] をクリックします。ファイル名は変更しないでください。



16. [Save File to your computer] リンクをクリックし、ファイルをローカルに保存します。

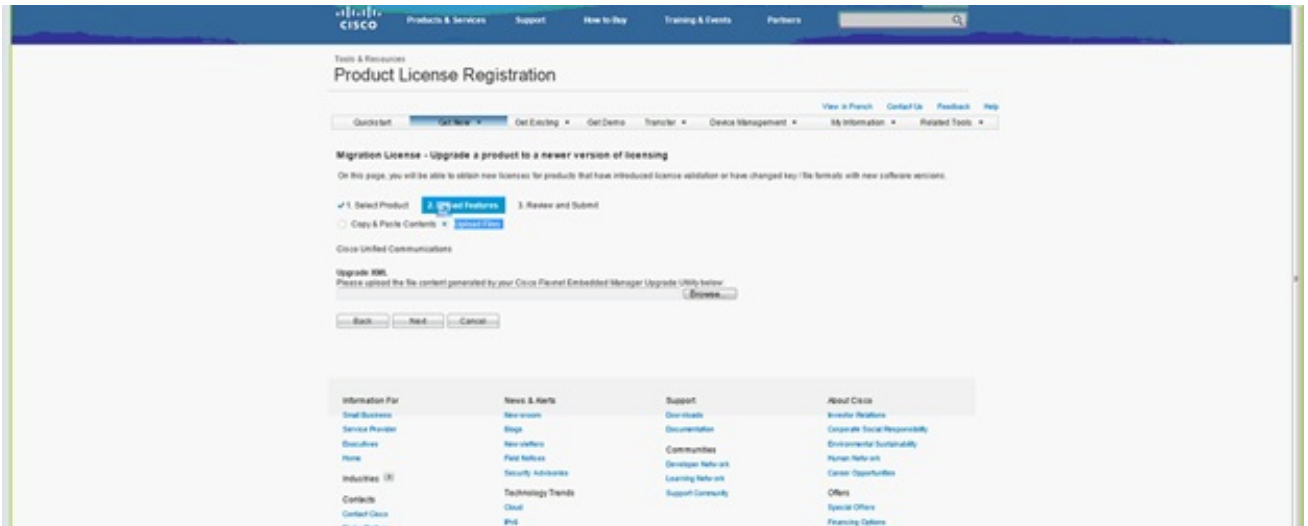


17. ステップ 2 のリンクを画面でクリックして、CCO ID でログインします。この手順の以降の部分は、アカウント情報が正しいことを前提としています。  
 18. [Cisco Unified Communications 9.0] を選択し、続行します。

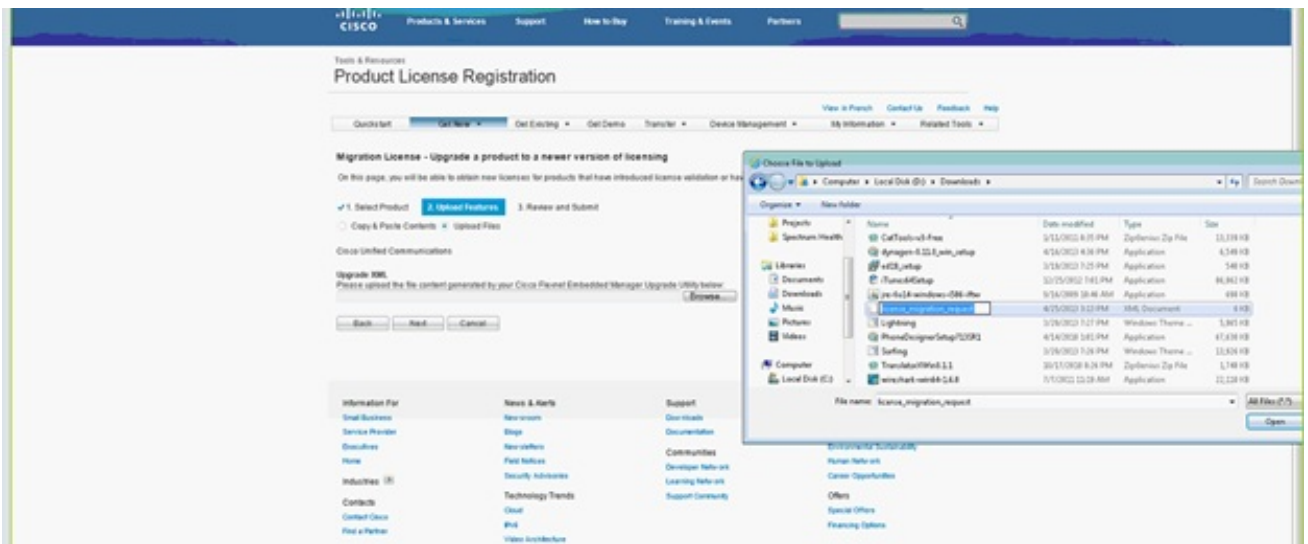




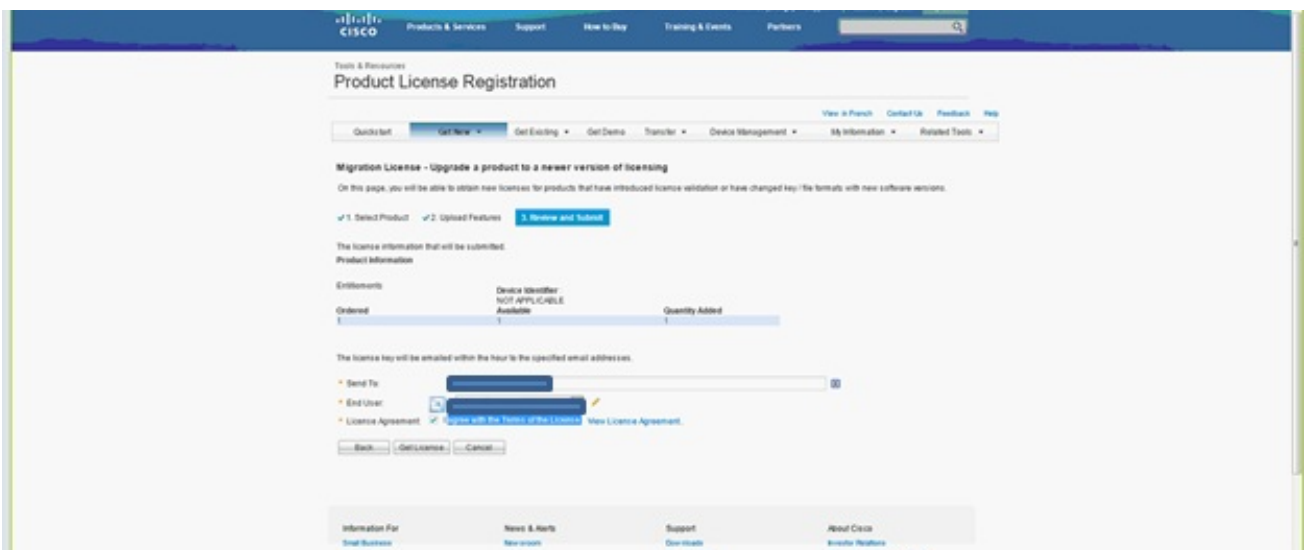
19. [Upload File] を選択します。



20. 先ほど保存したファイルの場所を参照し、[Next] をクリックします。

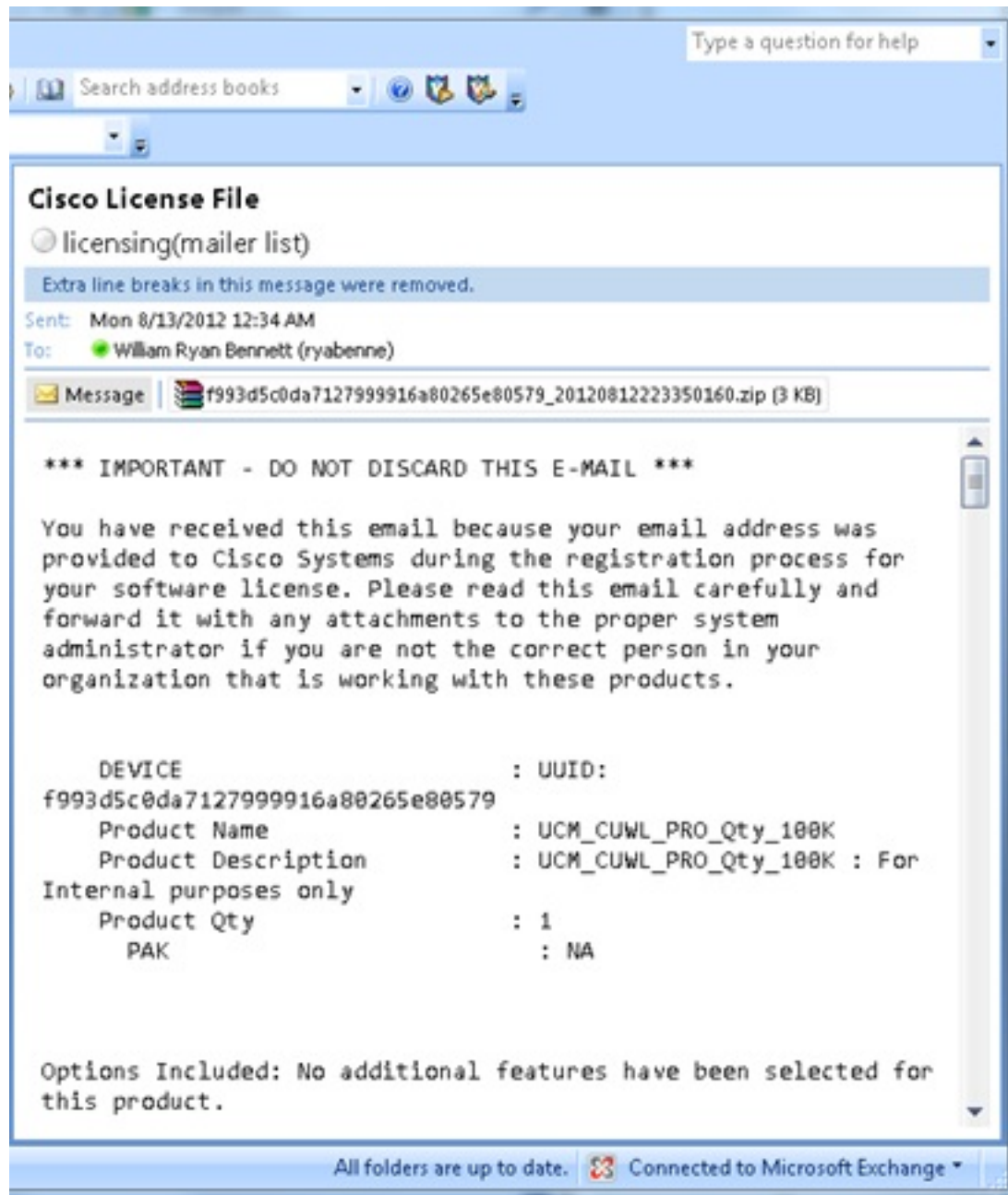


21. 正確さを確実にするため情報を見直し、チェックボックスをクリックしてライセンスファイルを受け入れます。[Get License] をクリックし、ファイルをダウンロードするか、電子メールで送信するかどうかを選択します。電子メールは、アカウント情報に基づいています。

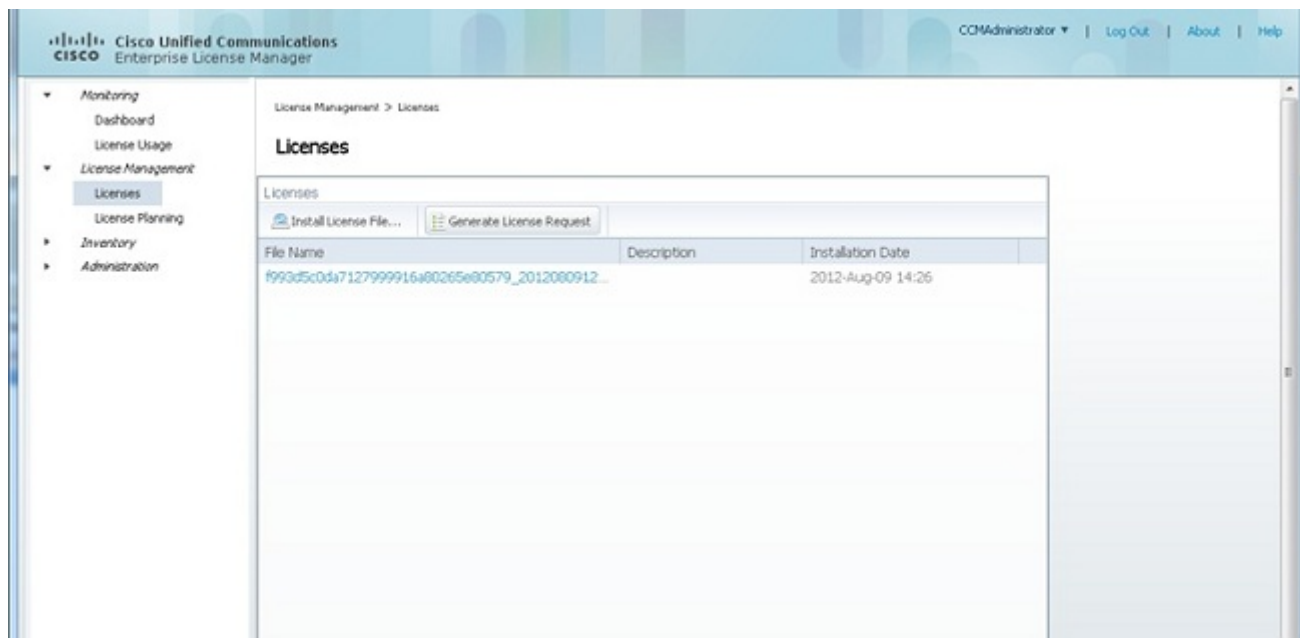


ライセンス ツールはライセンス ファイルを迅速に生成するため、数分以内に電子メールでライセンス ファイルを受信できます。

22. ZIP ファイルを保存し、その中のファイルを解凍します。



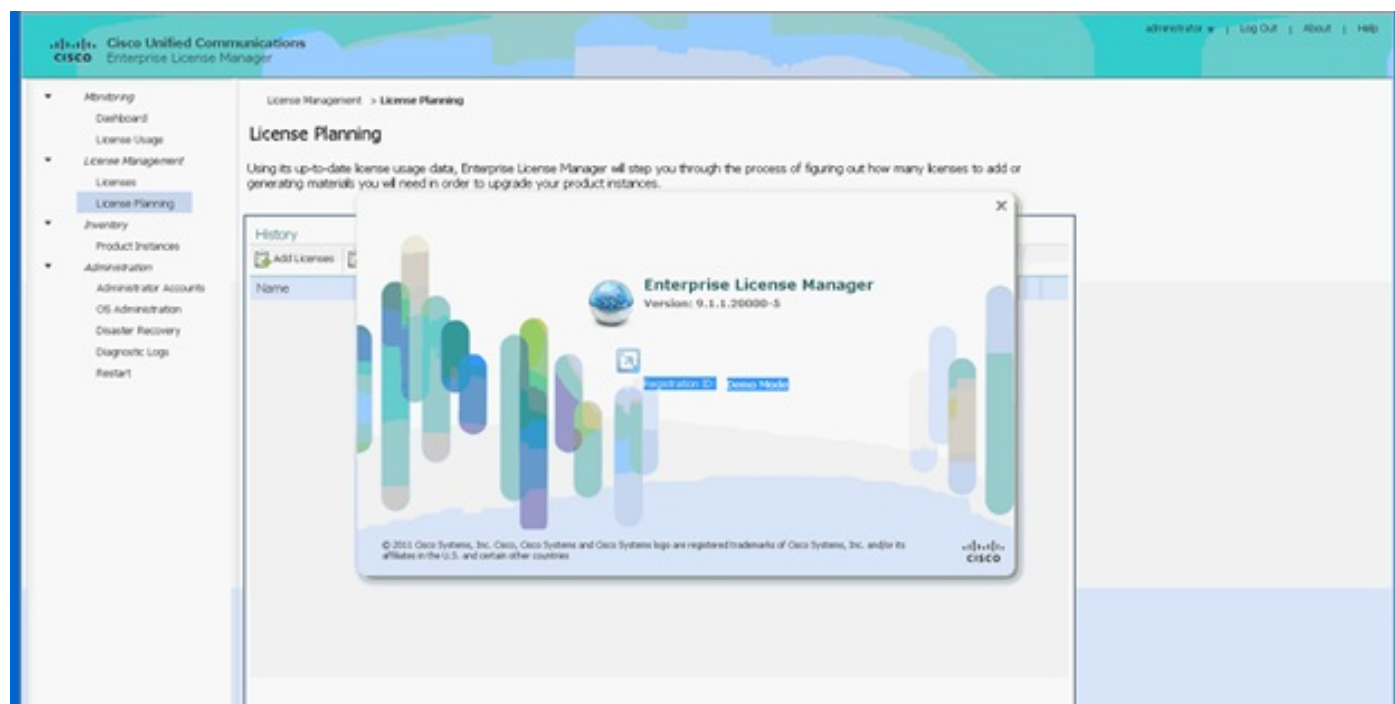
23. ELM に移動し、[License Management] を展開し、[Licenses] をクリックしてライセンスをインストールします。ELM のバージョンに応じて、ライセンスをアップロードする適切な方法を選択します。異なるバージョンには、異なるアップロード オプションがあります。この例では、[Generate License Request] が表示されるドロップダウン リストがあります。



## 確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

ライセンスファイルがインストールされると、ELM ツールの右上隅にある [About] アイコンをクリックすると、デモモードは表示されなくなります。



ライセンスの使用状況を確認すると、適切な詳細が表示されます。

Monitoring > License Usage

### License Usage

Last Synchronized: 2012-Aug-13 00:46:32 [Synchronize Now](#)

[Table View](#) [Chart View](#)

Type	Product Scope	Required	Installed	Unused	Status
CUWL Professional (9.0)	Unified CM	0	200000	199999	In Compliance
Enhanced (9.0)	Unified CM	1	0	0	In Compliance

ヒント：必ず [Synchronize Now] ボタンをクリックしてください。

## トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

### 同期ステータスのセキュリティ エラー

セキュリティ エラーは、ELM またはホスト名や IP の変更による証明書ベースの問題であることがほとんどです。

Inventory > Product Instances

### Product Instances

Last Synchronized: 2013-Apr-24 06:20:44 [Synchronize Now](#)

Product Instances Selected 0 | Total

[Add](#) [Delete](#) [Launch Admin GUI](#)

Name	Hostname/IP Address	Product Type	Version	Synchronization Status	Last Successful Synchronization
SPVCP-01	10.40.1.10	Unified CM	-	Security Error	Never

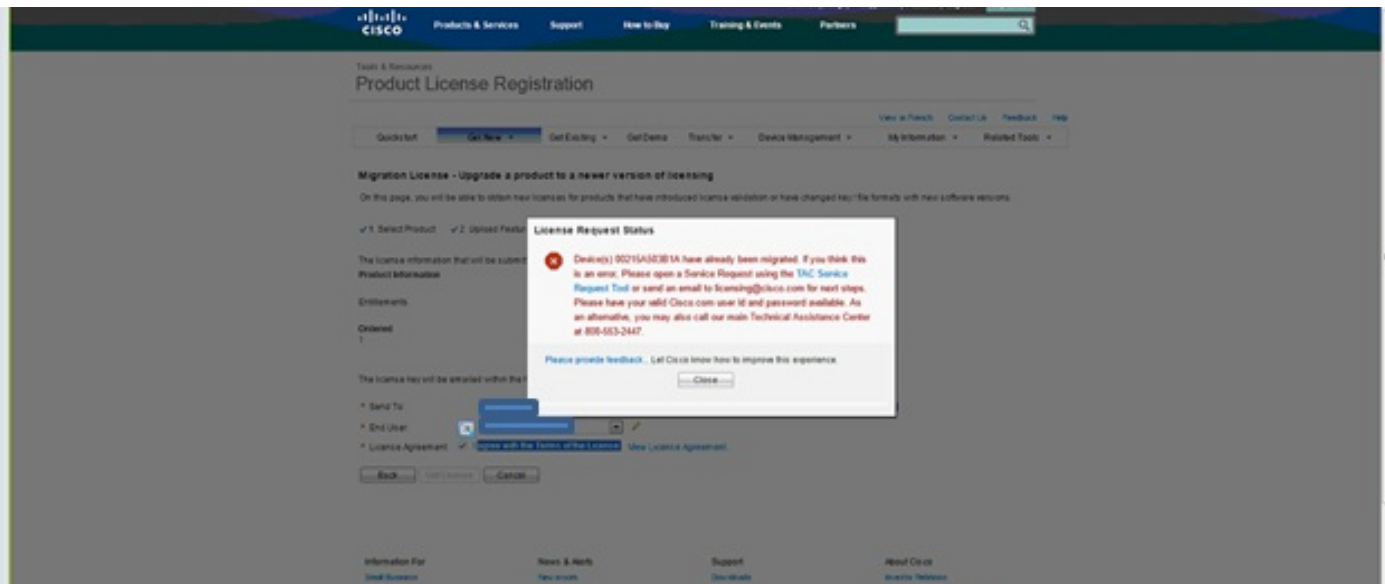
前提条件で説明したとおり、NTP ストラタムを確認し、CLI で次のコマンドを入力してください。

**admin : ライセンスクライアントリセット登録**

CUCM を削除してから再び追加すると、同期に成功するはずですが、同期に失敗する場合は、より詳細な調査のために CUCM チームの Technical Assistance Center ( TAC ) でサービス リクエストをオープンしてください。

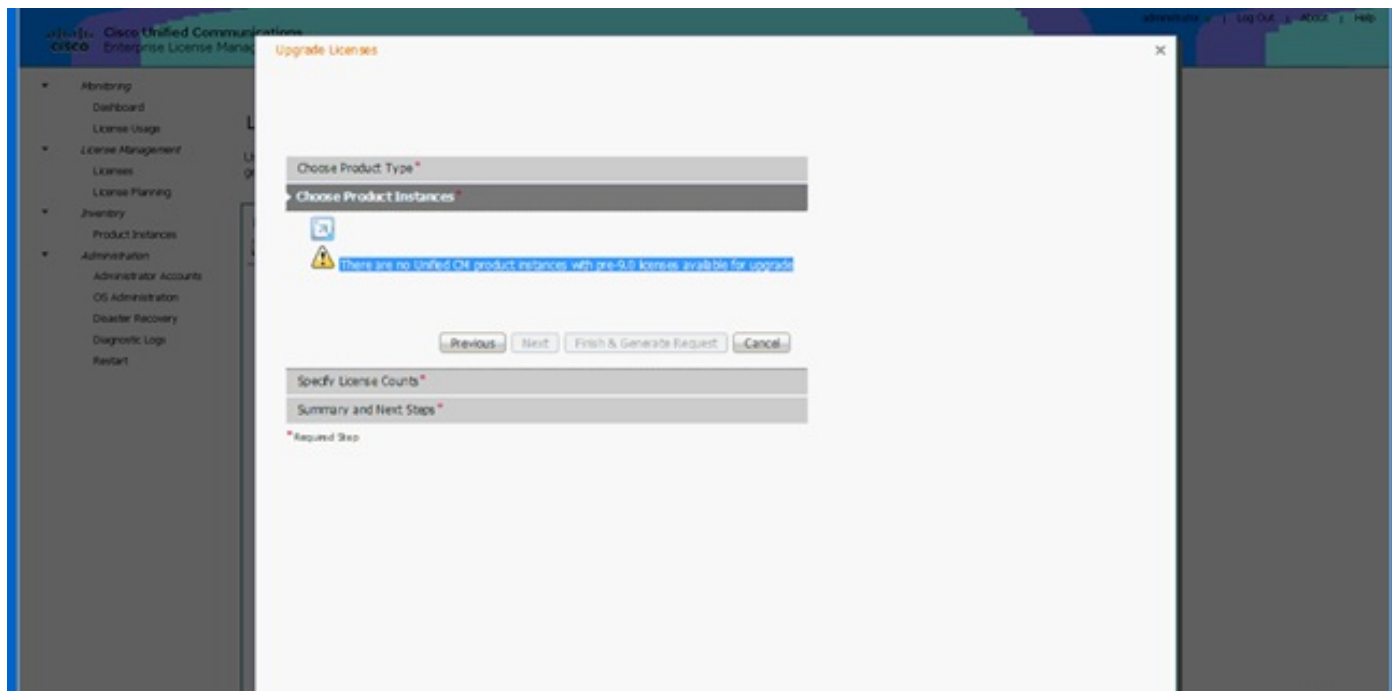
## ライセンス要求のステータス

ライセンス ツールで「License Request Status」エラーが表示されたら、ライセンスを再生成するためにライセンス チームの TAC でサービス リクエストをオープンしてください。ELM のページで [License Management] を展開し、[Licenses] をクリックし、[License Generate Request] を実行します。TAC のサービス リクエストは、48 時間以内に解決されるはずですが、



## Unified CM 製品インスタンスがない

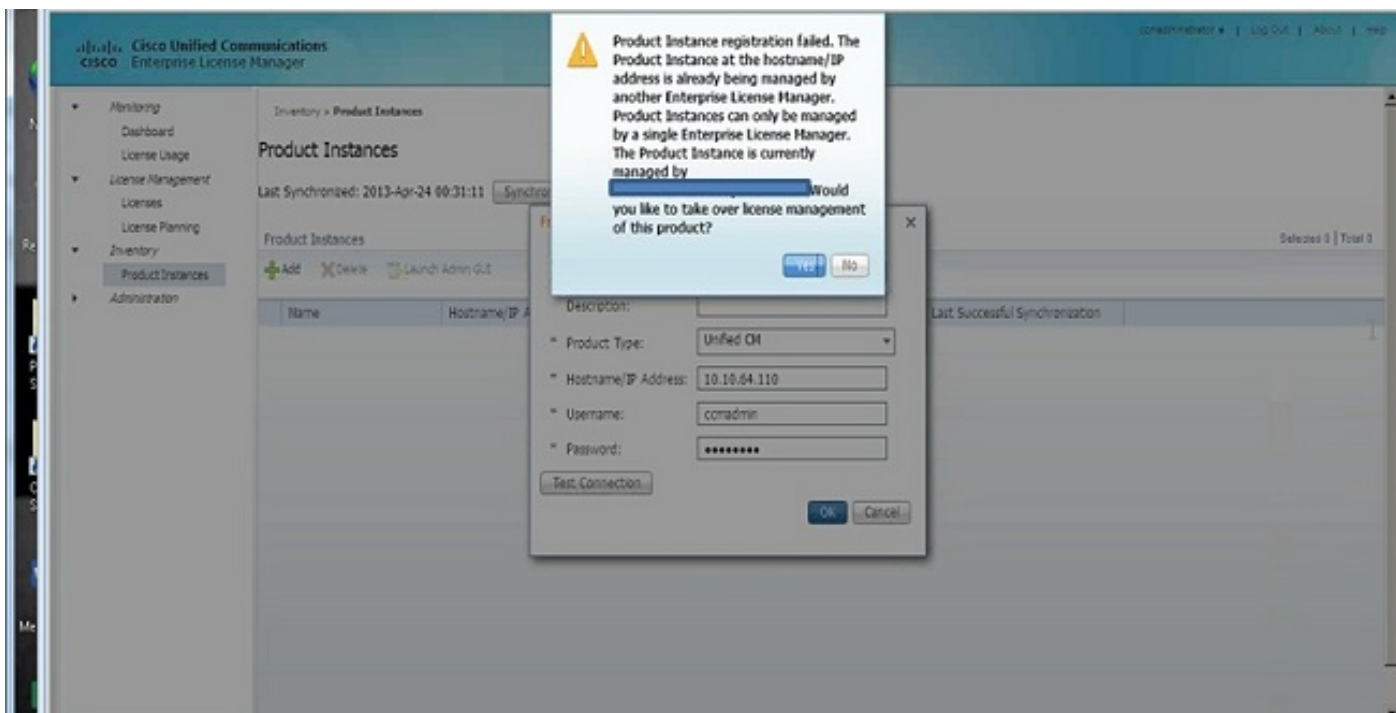
「No Unified CM Product Instances」エラーが表示されたら、ライセンスを再生成するためにライセンス営業部門 (BU) にサービス リクエストをエスカレーションするようにライセンス チームまでお問い合わせください。これには通常、24 ~ 48 時間がかかります。



## 製品インスタンスの登録に失敗する

製品インスタンスの登録に失敗する場合は、クラスターを制御する ELM インスタンスを探します

。



## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)